

三陸北部森林管理署久慈支署の採材等現地検討会に参加

令和7年12月4日(木)、岩手県久慈市の豊口国有林内において三陸北部森林管理署久慈支署主催による採材現地検討会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。当日は朝まで吹雪模様でしたが開会時には青空となり、県・町担当者、林業関係団体や林業事業体など42名の参加者を得て開催されました。久慈支署長の挨拶後に講師・出席者の紹介と事業概要等の説明が行われ、実際の現地検討に移りました。



開会式の様子



4班に分かれ採材検討

今回は広葉樹採材をメインに行われ、準備されたクリ2本とウダイカンバ3本の供試木を、参加者が4班に分かれて採材方法について検討し発表。発表結果について岩手県森林組合連合会担当者から、広葉樹の採材寸法等についてアドバイスをいただき採材箇所を決定。実際に造材していただき検討結果を確認することができたため、有利採材・販売に向けての理解を深めることができました。次に、岩手県森林組合連合会から採材留意事項及び岩手県の木材需給動向について情報提供していただき、続いて青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向について、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項等について説明しました。

最後に、青森事務所から講評と労働安全等についてお話させていただき、検討会は無事終了となりました。

青森事務所では、今後も各署等で開催される採材現地検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



造材していただき検討結果を確認



労働災害未然防止に向け指導